

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第3回川西市中学校給食検討会議	
事務局(担当課)		教育振興部学校教育室学務課	
開催日時		平成26年1月29日(水) 午後2時00分～	
開催場所		市役所4階 庁議室	
出席者	委員	濱田啓一、藤原政嘉 柏直行、田口進、田中淑子、吉田修司 芝原久美子、中西真紀	
	その他		
	事務局	泉教育振興部長、森下総務調整室長、上中学校教育室長、 中西学務課長、上原学務課長補佐、大坪学務課副主幹、 馬場主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 10人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		議事 (1)小学校給食試食会の報告について (2)中学校給食の実施の可能性について (3)その他	
会議結果		審議経過のとおり	

審 議 経 過

事務局	<p>開会</p> <p>ただ今から、第3回中学校給食検討会議を開会いたします。本日、山上委員及び中井委員から欠席のご連絡をいただいています。(資料確認等)</p>
座長	<p>議事</p> <p>皆さん、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。回を重ねまして、今日で第3回となりました。検討内容や課題も難しくなってきましたが、今日の会議もスムーズにいきたいと思いますので、どうぞよろしく願います。それでは、議題に入りたいと思います。会議内容(1)小学校給食試食会でございますが、始めに事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～説明～</p> <p>試食会場所、日程等</p>
座長	<p>ありがとうございました。それでは、試食会に出席いただいた委員の方から感想及び報告をお願いします。</p>
委員	<p>小学校に行かせていただきました。中学校の保護者ですが、参観日で子どもの様子を見たことはありましたが、給食の姿を保護者が見ることは、あまりないのが現状でして、子ども達が準備して食べている姿を初めて見ました。肅々と給食が実施されていると思っていたのですが、みんな笑顔で、給食を心待ちにしている感じがあふれている時間でした。1年生は先生が指導されていました。クラスごとに給食を食べる班を工夫されていて、何人かで机をくっつけて食べているクラスや、大きな円をクラス全員で作ってみんなが顔を向かい合わせにできるように食べているクラスなど、担任の先生の工夫を感じました。その日は、調理師さんが、残食の少ないクラスの子どもたちにマジックを披露しているのを見させていただきましたが、すごくフレンドリーな感じで、子ども達も給食を楽しみにしていると話していました。今回、小学校の給食を見させていただきましたが、他市の中学校給食を見学に行く機会があれば良いなと思いました。</p>
座長	<p>ありがとうございました。実際に小学生が食べている様子を見ていただきまして、ご報告いただきました。その中でも、子ども達が、給食を待っている様子や、和気あいあいと食べている様子が印象的だったということ。出来れば、中学校給食ではどのような様子で、どのように運営されているか見てみたいという意見がございました。続きまして、本日欠席の山上委員よりレポートが届いておりますので、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>山上委員のレポートを代読させていただきます。</p> <p>本日は出席できず、申し訳ございません。先に、猪名川町食育推進会議の予定が入っております。さて、第3回会議内容(1)小学校給食試食会について、ご報告します。12月19日に多田小学校の方で、給食を食べてきました。当日のメニューは、すき焼とにらサラダ、ご飯に牛乳とみかんです。校長室で、中西委員や教育委員会の方々とテーブルを囲んでの試食会でした。自校調理方式で、だしから手作りであって、味については申し分なく、お代わりまでさせていただき、「ご馳走さまでした。」その後、教室の方へ出向いて、子ども達の給食の様子を拝見しました。皆、楽しそうに給食の用意が出来ていました。一旦配膳された後、手を付ける前に先生の合図で、自分にあった量に減らすことが出来るシステムのように、苦手なものでも少しは食べる工夫をされていました。また、給食の時間に、当日の食材についてのクイズがあった他、給食室の調</p>

	<p>理師さんが完食のご褒美に、教室に出向いて手品を披露されていたのには感激しました。作った人の顔が見え、その上のふれあいの場がある。自校調理方式の学校給食は意味深いと再確認しました。また栄養教諭さんの、「各クラスの給食の減り具合で、そのクラスのある程度の状況がわかる。」というお話は、非常に興味深いものでした。どの様に食育の一環として、中学校の学校給食を実施できるのか。前回に問題になっていた給食時間など、カリキュラムの見直しまで含め、食べて学ぶ時間として実施できれば最高なのですが。 山上 威</p> <p>以上で代読を終わります。</p>
座長	<p>ありがとうございました。とても詳しく見ていただいたようです。その中で、気になることがあります。残食を見るとクラスの状況がわかるという栄養教諭さんの話があったということですが、田中委員からご意見や理由をお願いします。</p>
委員	<p>私も試食に行かせていただきまして、その時に山上委員とお話しさせていただきました。多田小学校に限らず、ずっと勤めていて気付いていることです。食べている時の様子もそうですが、後片付けの様子を見ていると、全てのクラスを同じ日に回るのは中々難しいですが、クラスの状況が見えてきます。残量もそうですが、後片付けの仕方の変化です。自然学校や修学旅行などの行事ごとの1週間前だと、その学年がなんとなく落ち着いていないのがわかったりします。それだけでなく、一定の状態だったのに少し様子が変わってきた時は、後片付けの仕方や残食の量が多くなります。今の時期はインフルエンザやお休みが多かったりしますが、なんでもない一番落ち着いて物事が出来る時に、少し残量が多かったり、子どもの苦手なおかずの残し方が極端に多い等で、クラスの状況が表れてきたりします。どうしたのかなと思っていると職員室でそのクラスが話題になっていたりします。学級担任ではなく、保健室の先生にそのクラスの状況を聞いてみると、来室数が多くなっていたり、専科の先生は授業での様子が落ち着かないと言っていたりします。逆に残食の量が落ち着いてくると、クラスの雰囲気も落ち着いてきたと言います。このような形で、先生方は意識していないかもしれないですが、全然違うところで子どもたちの日頃の状況の正直な気持ちや、後片付けの仕方や残食量に表れてきます。残食率が話題になった時に、全体としてどれだけ残ったのかというのも大事ですが、例えば3kg残ったのが全クラスまんべんなく残っていたら子どもの食に合わなかったのかもしれないかもしれません。しかし、3kgのうち2kgがひとつのクラスで残っていたりすると、そのクラスで子供たちにいつもと違う事があったのかなということがわかります。同じ残食率でも、細かく見るとクラスや学校の状況が大きく見えてきます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。非常に興味深い話でした。議題とは関係ないですが、大学教員として今この話は非常に興味がございます。統計をとって教育効果をあげるような工夫を先生方としていただければより良いかなと思いますので、私の希望としてよろしくをお願いします。それ以外にご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>試食会の時は給食を作る側でした。先ほど話にも出ましたが、教室を回れるというのは自校方式の良さで、子どもの顔を見ているとだいたいその時の雰囲気がわかってきます。担任の先生に前もって給食の残量の状況を伝えることで、クラスの状況を把握する手助けになっていると思います。</p>
委員	<p>自校での試食会でしたが、給食の試食だけではなく、配膳室から持ってくる様子や、配膳室の様子、教室の中で準備している様子、廊下の食育コーナーの掲示物や栄養教諭の先生や給食室調理師さんの工夫も合わせて見ていただけたのではないかと思います。</p>

座長	何か今の報告の中でご質問はございませんか。
委員	完食されたクラスには出向いているということですが、毎日どこかのクラスでこのようなことがされているのでしょうか。
委員	給食は180回あり、今回は連続で完食100回越えのクラスに行きました。白飯は完食できなかったこともありますが、とても珍しいことです。毎日ではできないので、100回越えくらいを目安に行います。
委員	調理師さんが工夫してくれていて、給食を完食するとマジックをしてくれたり、とても楽しそうです。我が子を通っている川西市立の小学校ではラッキースターという星型の人参を作ってくれていて、それが入っているとラッキーという感じで、楽しく給食を食べています。
座長	ありがとうございました。実際の報告を経てやはり自校方式が一番いいなということがわかりました。では、議題(2)中学校給食実施の可能性について、に移りたいと思います。前回の会議でアンケート調査結果が報告されました。約9割の保護者が給食に賛成。子ども達は約半数が給食を望んでいるという結果でした。今回、実施に向けて実施方法別に具体的なデータができています。データは方式ごとに示されています。自校調理方式、中学校間で行う兄弟方式、小学校から配送を行う親子方式、給食センターで一括調理を行うセンター方式がありますが、それぞれデータの量がかなりあります。2つに分けて協議を行いたいと思います。はじめに、自校方式、兄弟方式について事務局から説明していただきたいと思います。
事務局	～説明～ 資料1、資料2、資料3(自校方式、兄弟方式部分)
座長	7校につきまして、いろいろな可能性を含めた説明がございました。自校方式、兄弟方式等いろいろあり、可能性や整備コスト等について説明がありましたが、何かご意見ご質問ございませんでしょうか。
委員	兄弟方式というのは今日初めて聞きましたが、中学校同士で配送するということであるならば、川西中学校の場合は、自分の学校で作れるのでその必要はないのでしょうか。
事務局	今の時点ではどのような形、組合せで行くかわかりませんので、ここでは兄弟方式だけを考えた時に、相手校があるのかないのかを記載しています。
委員	資料を見ると、例えば川西中学校の場合、配膳室は設置できるが、調理する場所がないのであれば、兄弟方式が最善ではないかと思うのですが。
事務局	そのとおりです。自校方式の場合は、多田中学校以外はできます。兄弟方式の場合は、他校の給食を作ることでできる学校は、川西南中学校・明峰中学校・緑台中学校・清和台中学校です。その中学校に共同調理場を置いて他校へ配送することはできます。親子方式の場合は、小学校で作ったものをどこの中学校に配送することが可能か記載されています。3つの方式についてどのような可能性があるかというデータです。
座長	理解するのに時間がかかる資料の量かもしれませんが、例えば、川西南中学校は兄弟方式ができないということでしょうか。
事務局	はい。隣接校から配送する兄弟方式の場合は、川西南中学校の隣接校は川西中学校ですが、川西中学校は他校の給食を作る余裕がないのでできません。
座長	自校調理方式につきましても、スペースの問題が残っているところがあり、兄弟方式については、隣接する中学校がないと難しいということいろいろなハードルがあると思います。次に、親

事務局	子方式とセンター方式の説明をお願いします。 ～説明～
座長	資料1、資料2、資料3(親子方式、センター方式部分)
委員	今のお話の中で、親子方式については十分説明があったと思います。センター方式については、工業地域・準工業地域という限定された認可条件になりますので、今の川西市の中では困難であるというお話こともございまして、センター方式という選択肢は消えたかなと思います。その他に、デリバリー方式は費用がかなり安くなるということもありました。この件につきまして、ご意見がございましたらお願いします。
事務局	デリバリー方式は、何度かお話しの中に出てきましたが、対象外だと思います。もちろん自校方式が一番良いと思いますが、資料の図面を見ると、とても厳しい状況に感じます。この図面は必要面積でだしているだけで、生徒の動線について考慮したものでしょうか。
事務局	必要面積を最優先で考えていますが、各学校の校長先生と話をしたうえで、動線的な配慮も反映されているデータで考えています。
委員	学校によって自校方式と親子方式の使い分けはできますか。また、兄弟方式にすることができれば、予算の削減もできると思うのですが、どうでしょうか。
事務局	自校方式よりも兄弟方式の方が整備コストは親子方式と同じ理由で、低くなると思われます。ただ、人件費や運搬費を含めた全体コストを考えたものを次回の議会で算出しますので、ご意見等ありましたら、お願いします。
委員	全体コストの話ができましたが、自校方式がどうしてもできない場所があるので、自校方式を基本にして、一部親子方式や兄弟方式を考えていけばいいと思います。
座長	いろいろな可能性を考えていかなければいけませんね。現場からは意見はありませんか。
委員	次回には運用費用等の検討結果もでてくるということですが、確かに、兄弟方式や親子方式の場合施設費は安くなりますが、配送に伴うコストは消えてなくなる物です。物としては残らないので、その辺りはどうなるのかなと思います。ただ、自校方式だけでは給食はできないので、併用していかないといけないと感じます。また、敷地の問題ですが、川西南中学校はすぐ隣に民家があり、今の多田小学校と同じような配置の学校です。学校だけではなく、近隣との状況の問題も今後出てくると思います。今回、実際に学校へ出向いたり、さまざまな調理方式の数字を算出したり、事務局はがんばってくれたと思います。詳しい資料を見て、具体的に想像できてよかったです。
座長	ありがとうございます。他にご意見はありませんか。いろいろなご意見をいただきましたが、次回の会議では、運営に関する費用が具体的に示される予定です。今お話しにありました、投資コストを含めた、運用コストや維持コスト等の全体のコストを見ながら、給食のあり方について検討できたら良いと思います。第2回中学校給食検討会議では複数の委員から、給食を導入する際には、小学校の協力が必ず必要であるという意見がありました。スムーズな導入に努めることが必要という意見もございました。本日の会議では、土地や配送の問題というさまざまな課題もできましたけれど、中学校給食を実施するということを前提に次回も課題や意見をいただけたらと思います。以上でこの議題を終了したいと思います。次に(3)その他について事務局よりお願いします。
事務局	次回の会議では運営に関する費用を算出する予定です。今回の投資的経費と合わせまして、全

座長	<p>体コストを見ながら、給食のあり方について検討を進めていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>次回第4回の検討会議は平成26年2月13日(木)午後2時より開催いたします。以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。各委員の皆さまは次回の日程について確認していただきたいと思います。いろいろな課題がありますが、川西中学校給食が良いものとなれば良いと思います。本日はこれもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p><u>閉会</u></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----	---